

2026 年 10 月 13 日

2026 年 9 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判・巻取ともに目立ったスポット案件が少なく、特に巻取に関しては、昨年を大きく下回る販売量となった。

なお、在庫について販売量減影響により、前月比で若干上回る結果となった。

（前年比 平判 96.1%・巻取 83.3%）

再生紙平判は役所、官公庁関連の定期誌以外のスポットが無く、昨年を大きく下回った。

再生紙巻取も目立ったスポット案件がなく、平判同様に昨年を大きく下回り、再生紙全体で昨年を大きく下回る形となった。

（前年比 平判 85.8%・巻取 70.9% 再生上質計 77.6%）

巻取・平判ともに昨年比で大きく落とし、印刷用紙 A 全体で昨年を下回る結果となった。

なお、印刷用紙 A 全体在庫量については、昨年同月比でほぼ横ばいだった。

（印刷用紙 A 全体前年比 93.9%）

<A2 コート>

平判は、カレンダー、学参関連のパンフレット、歳暮カタログ等で一部動きがみられたが、目立ったスポット案件がみられず、グロス、マットともに昨年を下回った。

巻取は、食品デリバリー、量販店のチラシ、イベント関連等で一部動きがみられたが、カタログ関連の動きも鈍く、マットはほぼ前年並みだったが、グロスは昨年を大幅に下回った。

（前年比 平判 91.4% 巻取 91.5% 全体 91.4%）

<A3 コート>

生損保、スーパーや食品デリバリー等で一部動きがみられたが、教育関連、不動産関連のチラシの動きが悪かった。カタログ関連の動きも低調で、平判は前年を下回ったが、巻取は昨年並みだった。

（前年比 平判 92.7% 巻取 101.0% 全体 98.0%）

<ノーカーボン紙>

平判は金融・損保系手書き帳票の動きは一部見られたものの、スポットの動きはなく昨年を下回った。
巻取は歳末商戦申込書の動きは見られたが数量減。他に目立ったスポットの動きもなく低調だった。
(前年比 平判 91.8% 巻取 73.9%)

<上質フォーム>

DMや通知物の動きはあるものの、自治体案件の動きや目立ったスポット案件もなく昨年に大幅に下回った。
(前年比 88.7%)

<包装用紙>

特殊両更・晒クラフト・片艶晒・色クラフト等封筒関連については全般的に目立った動きは無く、昨年に大きく下回った。
純白ロールは連休向けにお土産関連の包装紙に動きがみられた。また緩衝材用途に一部動きがあり昨年並みとなった。
包装紙全体では 92.6%と昨年に下回った。

<板紙>

コートボールは、台風や長雨の天候不順の影響で、冷菓及び菓子関係は低調であったが、その他の食品関係は昨年物価高の影響で低迷していたものの、日用品関連と共に動きが一部戻り、昨年に上回る。
特板は、昨年に見られたテイクアウト需要に動きが見られず、POP 関連も不調であった。
また、前月に引き続き在庫不足の影響もあり、昨年に下回った。
高板においては、エンタメ関連が堅調であるものの、化粧品、POP 向けが低調であり昨年に下回る。
チップボールにおいては、出版用途の全般的な低調が続き、昨年に下回った。
全体としては天候不順の影響もあり。大型連休前後の荷動きが乏しく、昨年に下回る結果であった。
(前年比 93.4%)